

統合評価導入を踏まえた自動車アセスメントの普及・啓発について

現状の整理

自動車アセスメントにおいては、これまで以下のような取組を通じて事業の周知を行い、ユーザーの安全な自動車選びのサポートを行ってきた。

- 結果発表会(年2回)
- モーターショー等出展(東京モーターショー含む全国6ヶ所:隔年)
- 試験結果のHP公開
- パンフレット作成・配布
- 運輸局等で行われるイベント(2017年度主管支所で98回実施)

以上の取組により、自動車アセスメント事業は一定程度の認知を受けるまでになった。

しかしながら、昨今の悲惨な交通事故により、「安全な自動車」に対する関心が非常に高まっており、自動車アセスメント事業の役割はこれまで以上に大きなものとなってきている。

2020年度より予防・衝突等統合安全性能評価が開始されるため、これを機に、事業の更なる認知度向上に向けて、現行の取組変更及び新たな広報活動を行うことを検討していきたい。

[参考]

- ・2017年度の運輸局等で行われるイベント参加者アンケート約1万人のうち、約32%が認知と回答
- ・結果発表会 2015(H27)年5月:マスコミ数40人・一般来場者11,500人(2日間)
→2019(R1)年5月:マスコミ数58人・一般来場者(推計6,700人(1日))
- ・NASVA ホームページ(アセス関係アクセス数)
2015年度:1,429,295件 → 2018年度:1,100,960件

メディアWGでの主なご意見

昨年度開催されたメディアWG等で、委員より以下のご意見をいただいた。

- ①結果発表会の開催内容変更
- ②試験結果のHP公表時期変更
- ③パンフレットやHPの体裁変更
- ④「自動車アセスメント」の用語変更

スケジュール

- ・本年度中にメディアWGにて検討を行う。

以上